

Citation: Green S, Buchbinder R, Barnsley L, Hall S, White M, Smidt N, Assendelft W. Acupuncture for lateral elbow pain. *Cochrane Database of Systematic Reviews* 2002, Issue 1. Art. No.: CD003527. DOI: 10.1002/14651858.CD003527.

CRG名: Musculoskeletal

[最新版\(英語版\)はこちら](#)

英語版最終改訂年月: 20 November 2001.

Clib issue No.; N/U: 2007 issue 4; -

背景: 本レビューは、外側肘疼痛への介入に関する一連のレビューのひとつである。外側肘疼痛、いわゆるテニス肘は一般にみられる状態であり、肘と前腕の疼痛および肘と手首の力と機能の低下を引き起こす。鍼は、長い間中国で外側肘疼痛の治療に用いられており、西側諸国では開業医と消費者が筋骨格系疾患のファーストライン治療として次第に鍼を試みている。鍼が外側肘疼痛の治療に有効であるか否かを判定するために、これまで入手可能なエビデンスのシステマティック・レビューは行われていない。

目的: 疼痛軽減、機能改善、握力、有害作用について、成人の外側肘疼痛の治療に対する鍼の効果を判定する。

検索戦略: MEDLINE、CINAHL、EMBASEおよびSCISEARCHおよびCochrane Clinical Trials RegisterおよびMusculoskeletal Review Group's specialist trial databaseを1966年～2001年6月まで検索した。可能な限り多くの試験を検索するために、同定したキーワードと著者を検索した。

選択基準: 2名のレビューアが、事前に設定した選択基準について同定したすべての試験を独自に評価した。あらゆる言語のランダム化および偽ランダム化試験で、外側肘疼痛(テニス肘)の成人患者を対象に鍼をプラセボまたは別の介入と比較検討しているものを本レビューに含めた。関心のあるアウトカムは、疼痛、機能、能力障害、生活の質(QOL)、参加者の治療満足度、有害作用であった。

データ収集と分析: 連続変数については、重み付け平均差の解析を可能とするために平均値および標準偏差を抽出または帰属させた。二値データについては、イベントと全集団の数を解析し、相対リスクとして解釈した。臨床的および統計的に異質性がない場合にのみ試験結果を統合した。

主な結果: 4件の小規模ランダム化比較試験を含めたが、研究デザインの欠点(特に、少数集団、不確実な割りつけの隠蔽化、相当数の追跡不能)および試験間で臨床的な相違がみられたため、試験データをメタアナリシスで統合することはできなかった。1件のランダム化比較試験で、針による鍼治療の結果、疼痛緩和期間がプラセボに比較して有意に長く(WMD=18.8時間、95%CI10.1～27.5)、また1回の治療後に疼痛が50%以上軽減する傾向が高かったことを明らかにしていた(RR0.33、95%CI0.16から0.69)(Molsberger 1994)。2番目のランダム化比較試験では、針による鍼治療によってプラセボに比較して、短期的には参加者全般で改善を報告する可能性が高いことが示された(RR=0.09、95%CI0.01～0.64)(Haker 1990a)。長期的には(3ヵ月後または12ヵ月後)有意差は認められなかった。レーザー鍼とプラセボを比較していた1件のランダム化比較試験では、レーザー鍼とプラセボとの間で全般的な利益に差はなかった(Haker 1990b)。選択した4番目の試験(中国で発表)では、ビタミンB12注射と鍼の併用とビタミンB12注射単独との間で差がないことが示された(Wang 1997)。

レビューアの結論: 外側肘疼痛の治療で鍼(針またはレーザー)の使用を支持するまたは否定するいずれのエビデンスも不十分である。本レビューから、疼痛については針による鍼治療の短期的利益が示されたが、この所見は2件の小規模試験の結果に基づくものであり、これらの結果をメタアナリシスで統合することはできなかった。治療後24時間以上持続する利益は実証されていない。いずれの試験も有害作用についての評価やコメントはなかった。テニス肘に対する鍼の効果についての結論を下すには、適切な方法と十分なサンプル・サイズを用いたさらなる試験が必要である。

ご注意:この日本語訳は、臨床医、疫学研究者などによる翻訳のチェックを受けて公開していますが、訳語の間違いなどお気づきの点がありましたら、Minds事務局までご連絡ください。なお、コクラン・ライブラリは年4回改定版が発行されます。Mindsでは最新版の日本語訳を掲載するよう努めておりますが、編集作業に伴うタイム・ラグが生じている場合もあります。ご利用に際しては、最新版(英語版)の内容をご確認ください。